

令和7年度 第1回 旭川市GX懇談会 会議録

日 時	令和7年8月29日（金） 午後3時00分～午後4時00分	
場 所	旭川市総合庁舎7階 多目的室（旭川市7条通9丁目）	
出席者	参加者	10名 鈴木氏（阿彦氏代理）、加藤氏、近藤氏、須田氏、寺島氏、古川氏、古澤氏、三本氏、宮本氏、森田氏
	説明者	4名 株式会社 建設技術研究所（齋藤氏、五十嵐氏、新井氏、高嶋氏）
	事務局	4名 環境部（安富ゼロカーボンシティ担当課長、坂田主査、齋藤、矢吹）
会議の公開・ 非公開の別	公開	
傍聴者	1名	
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 参加者の紹介 4 開催・運営に関する取扱い 5 進行役の選出 6 事業の説明及び意見交換等 7 その他 8 閉会 	

会議資料	<配付資料> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 旭川市GX懇談会開催要綱 ・資料2 旭川市GX懇談会参加者名簿 ・資料3 旭川市GX懇談会座席表 ・資料4 旭川市GX懇談会の開催及び運営について ・資料5 令和7年度ゾーニング検討事業について 	
議事内容等	発言者	発言の要旨
1 開会	事務局	
2 挨拶	事務局	
3 参加者の紹介	事務局	
4 開催・運営に関する 取扱い	事務局	(資料4により説明) 質問等はあるか。
	参加者	(なし)
5 進行役の選出	事務局	旭川市GX懇談会開催要綱第5条の規定により、会議の進行は参加者の互選により定めた進行役が行うことになっている。自薦他薦がない場合、事務局から提案したいと考えているがいかがか。
	参加者	(一同了承)
	事務局	それでは、事務局案では須田氏にお願いしたい。ご承認いただけるか。
	参加者	(一同了承)
	事務局	進行役の就任にあたり、一言ご挨拶をいただきたい。
6 事業の説明及び意見 交換等	進行役	「令和7年度 ゾーニング検討事業について」説明願う。
	説明者	(資料5により説明)
	進行役	今の説明について質問等はあるか、自由にお話しいただきたい。ささいなことでも構わない。
	参加者	22ページのゾーニングの区分の考え方について、保全エリア等を決める考え方はどこにあるのか。どの場所においても環境に影響は出ると思う。

説明者	どこの場所でも環境に影響が出るのはそのとおり。「保全エリア」と整理しているのは、国の法令などで強い規制がかかっているエリア。また、重大な環境影響が懸念されるところを定義している。
参加者	今テレビで報道されている釧路湿原のソーラーの件について、事業者が建設について届出した時に市は許可を出したと思うが、実際に事業を実施すると懸念が出た。実際は環境の変化が出てくるとは思うし、決め方が難しいと思う。
説明者	環境の変化についてそのとおりと認識する。様々な情報を重ねていき、さらにその地域にとってどのくらいの重さなのかを評価して、ゾーニング事業を進めるもの。一方的に決めるという認識ではない。
参加者	内容的には何かをやらなければいけないと思うが、やはり変化が起こるものなので難しいと思う。
進行役	そのとおりで、ゾーニングマップの素案をつくってもらった上で、今後意見を聞き、進めていくもの。14ページにも釧路湿原の内容が掲載されている。皆様もいろいろな情報を頭にいった上で次回の会議に入っていただきたい。
参加者	再エネ事業拡大によるトラブルの事例が紹介されているが、成功例も知りたい。
進行役	13～14ページにトラブルの事例記載がある。母数として全国の市町村数はいくつなのか。そのうち355市町村でトラブルがあったという内容かと思うが。
説明者	母数については明確に回答できないため、後ほど確認する。現段階でお答えできる成功例としては、宮城県で風力発電のゾーニングを行った事例があり、丁寧に調査、ヒアリングを実施したことが良い事例であった。
進行役	トラブルが発生した市町村はゾーニングを実施していないからトラブルになったのか。
説明者	必ずしもそうではないが、地域とのコミュニケーション不足など様々な要因により発生したと考える。
参加者	再エネ導入の可能性について、太陽光発電と風力発電以外について検討は行ったのか。

進行役	<p>今回はポテンシャルの高いものを中心にゾーニングを進める。例えば、旭川市内には森林も多く広がっているので木質バイオマスなどが可能性として期待できるかもしれない。このゾーニングでは旭川市の「地球温暖化対策実行計画」に沿って可能なものを検討し、導入していく。</p>
参加者	<p>川の多い町なので、水力発電についても検討してみてもいいと思った。</p>
参加者	<p>ゾーニングにあたって、自然環境調査がポイントになり、文献調査や現地調査などがあると思うが、文献調査は古い資料もあり、参考資料としては弱いのではないかと思う。現地調査も限られた時間で行うことになるが、土台となるこれらの調査について、どのように考えているのか。</p>
説明者	<p>内容によっては文献も古いものはあるが、まずは広範に文献で調査をし、欠損している情報などもあるかと思うので、現地調査を実施する。動植物については専門家へのヒアリングも行い、最新の情報等を取り入れることで補完していきたい。</p>
進行役	<p>ヒアリングは研究者を中心に行うのか。</p>
説明者	<p>はい。あさひかわ自然環境ネットワーク等を検討している。</p>
参加者	<p>文献リストについて早い段階で提示いただきたい。</p>
説明者	<p>承知した。</p>
参加者	<p>風力・太陽光発電の設置コストや維持するためのコストを加味して検討を行うのか。</p>
説明者	<p>コストについてはゾーニングで検討するものではなく、ゾーニングの結果を利用して、事業者側で検討を行っていただければと思う。</p>
参加者	<p>行政にて地域との調整を行った結果をゾーニングマップとして情報提供し、設置については事業者の役割ということか。</p>
進行役	<p>そのとおりである。</p>
参加者	<p>20ページにゾーニングの際に考慮する情報について書かれているが、場所によって送電設備に接続可能な規模も異なる。そのあたり</p>

	説明者	<p>は今回のゾーニングで考慮するのか。</p> <p>送電の空き容量等についての整理を行い、それも加味した上でエリアを設定していく。</p>
7 その他	進行役	<p>その他について参加者から何かあるか。</p> <p>(なし)</p>
	進行役	事務局から何かあるか。
	事務局	ありません。
8 閉会	事務局	